

2024年度入学者用（人文学類）

学習計画について

1. 授業科目の配分について

卒業及び学位取得に必要な単位は、下の表のとおりです。共通教育科目と専門教育科目の中から必要な単位を修得しなければなりません。共通教育の単位の修得については、「共通教育科目履修案内」に詳しく説明されています。両科目とも1年次から配置されていますが、共通教育科目は1年次を中心とした低学年で、専門教育科目は主に2年次以降の高学年で修得するよう配置されています。

学 年	授業科目の配置
4 年	専門教育科目 学域 GS 科目 学域 GS 言語科目 専門基礎科目(人文学基盤科目) 専門科目 (教職科目)
3 年	
2 年	
1 年	

学 年	授業科目の配置
4 年	共通教育科目 導入科目 GS 科目 (6 群) GS 言語科目 自由履修科目 初習言語科目
3 年	
2 年	
1 年	

2. 専門教育科目と共通教育科目の関連について

人文学類の単位修得要件は、下の別表第1にあるとおりです。

別表第1 単位修得要件

区 分		修得すべき単位数及び条件	
共通教育科目	導 入 科 目	36 単位以上	大学・社会生活論 1 単位
	G S 科 目 (6 群)		データサイエンス基礎 1 単位
			地域概論 1 単位
			1 群から 5 群の各群から 2 単位を含む 12 単位 6 群から 3 単位 ※単一の群で 3 単位を超える修得単位は、自由履修科目に算入する。 計 15 単位
			Practical English 4 単位, EAP コース 4 単位
			2 単位以上
初 習 言 語 科 目	1 言語 8 単位以上		
専門教育科目	学 域 G S 科 目 ※ ²	88 単位以上	アカデミックスキル 1 単位 プレゼン・ディベート論 1 単位
	学 域 G S 言 語 科 目		学域俯瞰科目
	専 門 基 礎 科 目 (人文学基盤科目)		データサイエンス応用系科目 2 単位以上
	専 門 科 目		2 科目 2 単位
卒業に必要な単位数		124 単位以上	

※¹ 共通教育科目における自由履修科目は、GS 科目、基礎科目および初習言語科目の最低修得要件を超えて修得した単位、並びにその他の共通教育科目（導入科目及び GS 言語科目を除く）の単位を指します。

※² 学域 GS 科目の「学域俯瞰科目」、「データサイエンス応用系科目」として開講する GS 科目発展系科目群の修得単位を含みます。

※³ 教職免許を取得するために必要な「教育の基礎的理解に関する科目等」や「各教科の指導法」の単位は、一部を除き、卒業要件に含まれませんので、十分に注意して下さい。

2年次以降はプログラムを選択することになり、必要な単位の内容もプログラムごとに異なります。希望するプログラムの専門科目のことも考慮に入れながら、1年次より計画的に単位修得ができるよう学習計画をたてる必要があります。

専門教育科目の中の「学域GS科目」は、後掲の「プログラム別履修科目一覧と教育方針・履修上の注意」の表に「学域GS科目」と表示されている科目群から8単位を修得する必要があります。また、「学域GS言語科目」も2単位を修得しなければなりません。

3. 学域GS科目について

学域GS科目は、共通教育科目のGS科目と同じように金沢大学〈グローバル〉スタンダード(KUGS)に対応して開講する専門教育科目で、初学者科目(「アカデミックスキル」,「プレゼン・ディベート論」),学域俯瞰科目,データサイエンス応用系科目から構成されています。初学者科目は1年次前期(Q1・Q2)に、学域俯瞰科目とデータサイエンス応用系科目は、主に1年次後期(Q3・Q4)から2年次にかけて複数開講されます。初学者科目2単位,学域俯瞰科目とデータサイエンス応用系科目から6単位(ただし,データサイエンス応用系科目は2単位以上)の計8単位以上を修得する必要があります。

なお、本学類では8単位を超えて修得した学域GS科目単位は「選択科目」に算入されます。

また、学域GS科目は、システム抽選対象科目となります。履修登録期間内の登録者数が各科目の適正人数(受講上限数)を超えた場合、履修登録期間終了後に、共通教育科目と同じくシステムにより抽選が行われます。履修登録補正期間になると抽選結果をインターネットで確認できますので、履修が許可されなかった場合や履修登録を間違えた場合は、補正を行ってください。なお、操作方法等は共通教育科目のシステム抽選対象科目と同じです。

4. 学域GS言語科目について

学域GS言語科目は、人間社会学域専門教育科目の基礎的な内容を英語で話し、書き、発表することができるようになること、ひいては様々な実践的英語力を身につけ海外留学希望者の専門的な英語力の底上げを図ることを目的とした専門教育科目です。主に2年次に開講します。「学域GS言語科目Ⅰ(1単位)」,「学域GS言語科目Ⅱ(1単位)」及び「学域GS言語科目Ⅲ」のうち、2科目2単位修得する必要があります。

なお、学域GS言語科目は単位の重複履修が認められています(時間割が同じ時限の科目履修は不可)。

本学類では2単位を超えて修得した学域GS言語科目の単位は、2単位まで「選択科目」に算入されます。

また、授業による履修のほか、以下の①～②の方法での単位修得も可能です。詳細は掲示等で案内します。

①外部検定試験による単位認定

外部検定試験で所定のスコアや成績を得た者は、申請により、学域GS言語科目の単位認定を受けることができます。

対象英語外部検定試験名	スコア等成績	認定単位
TOEIC (Listening & Reading Test)	630 以上	「学域 GS 言語科目 I・II」2 単位
TOEIC (Listening & Reading IP Test)	630 以上	
TOEFL iBT	64 以上	
TOEFL-ITP	513 以上	
IELTS	5.5 以上	

○単位認定についての留意事項

- ・ 成績評価は「認定」となります。
- ・ 認定された科目は GPA (59 ページを参照) 算出の対象外となります。
- ・ 認定単位数は、クォーターで定められた上限単位数には含めません。
- ・ 本制度による「学域 GS 言語科目」認定単位は 2 単位を限度とします。「学域 GS 言語科目 I・II」のうち、既にどちらか 1 単位を修得している場合は、未修得の残りの 1 単位分を認定します。

②派遣留学や海外研修による単位修得方法

<派遣留学（本学との交流協定に基づく外国の大学への留学）>

留学先大学で修得した科目のシラバスの内容により、「学域 GS 言語科目」に限らず、その他の専門教育科目や共通教育科目全般が認定の対象科目となります。申請を希望する場合は、派遣留学前に人間社会系事務部学生課へ相談してください。

<派遣留学以外の海外研修>

本学域各学類提供の海外研修プログラムや国際機構ホームページ掲載の各種プログラムでの海外研修を行った場合、当該プログラムで規定される授業科目単位（学域 GS 言語科目以外の授業科目もあります）の修得が可能です。詳細は掲示等で案内します。

5. 英語学習にかかる卒業要件について

社会のグローバル化が急速に進むなか、本学では、さまざまな場でグローバルに活躍できる高度人材育成のため、「徹底した国際化による、グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」をテーマに各種取組を進めています。中でも、英語学習において、①英語外部検定試験の複数回受験、②英語外部検定試験の基準スコアのクリア、③英語で開講される専門科目（EMI 科目）の修得が卒業要件に含まれています。①は全学で義務付けられており、②と③については人文学類独自の基準が設けられて、2つの必修科目（「人文学序説A」と「卒業論文演習A」）の単位認定要件となっています。

英語学習にかかる卒業要件	概要	単位認定要件の対象科目※
① 英語外部検定試験の複数回受験	2 回以上英語外部検定試験を受験する (1 回目は 1 年次 Q4 の TOEIC-IP テスト)	人文学序説 A
② 英語外部検定試験の基準スコアのクリア	英語外部検定試験で所定の基準スコア (TOEIC (L&R) 600 相当) をクリアする	人文学序説 A
③ 英語で開講される専門科目の修得	英語で開講される専門科目 (EMI 科目) を履修し、所定の単位数 (プログラム別に 2~4 単位) を修得する	卒業論文演習 A

※該当科目を履修して合格となる成績を修めていても、各条件を満たし、所定の手続きを取るまで単位の発行が保留されます。

①英語外部検定試験の複数回受験について

本学では英語の外部検定試験受験を義務化しており、最低2回の受験が必要となります。

1回目の受験… 1年次に共通教育科目のGS言語科目「Practical English」を履修してTOEICテストに必要な英語能力向上をはかり、大学が実施するTOEIC-IPテストをQ4に受験。

2回目の受験… 2年次に専門教育科目「学域GS言語科目」を履修して人間社会学域に共通する基礎的な英語力を身につけ、各自で英語の外部検定試験を受験。(対象試験についての詳細は別に示す。)

上記2回目の英語の外部検定試験受験は、下表のとおり、本学類では必修の人文学基盤科目である「人文学序説A」の単位認定要件の一部となります。(「人文学序説A」を履修して合格となる成績を収めていても、2回目の英語外部検定試験を受け、かつ所定の基準スコアをクリアするまで単位の発行が保留されます。) このため、2年次以降早めに2回目の外部検定試験を受験して下さい。詳細については、別に掲示等でお知らせします。

取扱い	受験時期 (推奨)	対象英語外部検定試験	受験免除者
① 2回受験すること と②の基準スコア (TOEIC 600相当)を クリアすることが 「人文学序説A」の単 位認定要件の一部と なります	2年次以降 (早期)	TOEIC (Listening & Reading Test) TOEIC (Listening & Reading IP Test) TOEFL iBT TOEFL-ITP IELTS	・TOEIC 760以上, TOEFL iBT 80 以上, TOEFL-ITP 550 以上, IELTS 6.0 以上の スコアを有する者 ・本学が定める英語圏を国 籍とする者

②英語外部検定試験の基準スコアについて

本学では、卒業までに英語の外部検定試験において所定の基準を満たす必要があります。人文学類の基準スコアは以下のとおりです。対象のいずれかの試験で基準スコアをクリアしてください。詳細については、別に掲示等でお知らせします。

対象英語外部検定試験	基準スコア
TOEIC (Listening & Reading Test)	600
TOEIC (Listening & Reading IP Test)	600
TOEFL iBT	60
TOEFL-ITP	497
IELTS	5.0

○単位認定についての留意事項

- ・大学が1年次Q4に実施するTOEIC-IPテストで基準スコアをクリアした場合、「人文学序説A」の認定要件の一部を満たすこととなりますが、そのスコアはPractical Englishクラスの単位認定に使用するので、他の科目の単位認定には使えません。
- ・英語外部検定試験の2回目（あるいはそれ以上）の受験によって「人文学序説A」の認定要件に使用するスコア等の成績は、一定のハイスコアを取得した場合、他の科目の単位認定の申請に利用することができます。（詳細は人社系学生課教務・学生支援担当に確認してください。）
- ・1年次にTOEIC (L&R) 760以上のスコア（またはそれに相当する他の対象英語外部検定試験のスコア）を取得した場合、2年次以降の受験が免除され、①と②の要件を同時に満たしたことになります。
- ・なお、1回目の受験で基準スコアを達成した場合でも、2回目の受験免除のスコアに達していない場合は、2回目の受験が必要となります。

③英語で開講される専門科目（EMI科目）の修得について

本学では英語による専門科目（EMI科目）の修得が必須となっており、人文学類では各プログラムで必要なEMI科目の単位数を定めています。プログラムごとの修得単位数は以下のとおりです。EMI科目に該当する科目については、各プログラムのオリエンテーションや掲示等で確認してください。

プログラム	EMI科目の修得単位数
心理学プログラム	2
現代社会・人間学プログラム	2
考古学・文化資源学プログラム	4
歴史学プログラム	2
日本・中国言語文化学プログラム	2
欧米言語文化学プログラム	4
言語科学プログラム	2

6. 「人文学基盤科目」について

「人文学基盤科目」は、人文学類生が、人文諸学の基礎的な知識や方法論を学んで人文学的教養を幅広く身につけるために設定された科目群です。人文学類生はすべて、配属されるプログラムに関わりなく、この「人文学基盤科目」群のうち「人文学序説A, B, C, D」計4単位を必ず履修するとともに、残りの科目から自分の関心にしがたって計10単位以上（合計14単位以上）を履修してください。

なお、プログラム（および標準的履修モデル）によっては特に履修が推奨されている科目がありますので、詳細は各プログラムの概要説明で確認してください。「人文学基盤科目」は下の表の通りです。対象学年が「1～4年」となっているものは1年次から受講可能です。

人文学基盤科目	単位	対象学年	人文学基盤科目	単位	対象学年
人文学序説A（必修）	1	1～4年	北陸の考古学	1	2～4年
人文学序説B（必修）	1	1～4年	宗教芸術論	1	2～4年
人文学序説C（必修）	1	1～4年	イメージを読み解く	1	2～4年
人文学序説D（必修）	1	1～4年	グローバルヒストリー	1	2～4年

現代社会・人間学入門	1	1～4年	歴史学と現在 1	1	1～4年
哲学の起源	1	1～4年	歴史学と現在 2	1	1～4年
社会情報学 A	1	1～4年	日本語学講義 1	1	2～4年
社会情報学 B	1	1～4年	日本の物語と語り物	1	2～4年
ジェンダーと社会 A	1	1～4年	日本文学の近代	1	2～4年
ジェンダーと社会 B	1	1～4年	日本文学とメディア	1	2～4年
知覚・認知心理学 A	1	2～4年	中国の言語文化 A	1	2～4年
知覚・認知心理学 B	1	2～4年	中国の言語文化 B	1	2～4年
学習・言語心理学 A	1	2～4年	言語研究入門	1	2～4年
学習・言語心理学 B	1	2～4年	文学研究入門	1	2～4年
感情・人格心理学 A	1	2～4年	比較文学入門	1	2～4年
感情・人格心理学 B	1	2～4年	言語認知科学入門	1	2～4年
古代文明論	1	2～4年	—	—	—

7. プログラムについて

1年次には、共通教育科目や1年次から受講可能な専門教育科目を履修しますが、2年次からはプログラムを選択して、各プログラムの専門科目を中心に学ぶことになります。人文学類におかれているプログラムは以下の7プログラムです。

プログラム別学生受入適正上限表

学域	学類 (一学年定員)	プログラム	適正上限数	標準的履修モデル
人間社会学域	人文学類 (138)	心理学プログラム	26	心理学 公認心理師取得
		現代社会・人間学プログラム	30	哲学・倫理学
				社会学
				地理学
				文化人類学
				応用倫理学
				現代社会論
		考古学・文化資源学プログラム	30	考古学
				文化資源学
				文化遺産学
				比較文化学
				美術史・建築史学
		歴史学プログラム	46	日本史
東洋史				
西洋史				
日本・中国言語文化学プログラム	32	日本語学日本文学		
		中国語学中国文学		
		日本・中国言語文化学総合		
		比較文学		

		欧米言語文化学プログラム	34	英語学英米文学
				ドイツ言語文化学
				フランス言語文化学
				対照言語学
				比較文学
		言語科学プログラム	12	言語学
言語認知科学				

上の表の中で「適正上限」としてあるのは、そのプログラムが受け入れることのできる一学年の学生数で、各プログラムの専門教育を円滑に行うために設定されたものです。志望者がこの上限を超えない限り、志望通りのプログラムに進むことができますが、適正上限数を超えた場合には、1年次の3月に1年次第1～第4クォーターのGPA（59ページを参照）により選考を行い、結果によっては第2志望以下のプログラムに進むことになります。ただし、各プログラムの3～4年生の在籍数の合計（留年生を含む）が各学年の適正上限数の合計を下回る場合は、当該プログラムへの志望者を受け入れることがあります（定められた適正上限数のプラス10%を限度とし、かつ、2～4年生の合計数が適正上限数を超えないこと）。選考においては、修得単位数が28単位以上（修得単位数には評価が合否の科目及び教職科目を含む）の者を優先してGPA順の選考を行います。また、GPAが等しい場合には、修得単位数の多い者を優先します。修得単位数が28単位未満の者については、GPT（GPA×単位数）順で選考を行います。選択プログラムは入学年度ごとに決まりますので、諸事情により1年次末にプログラムを選択しなかった場合は、入学年度が同じ学生の選択結果を確認し、適正上限に空きがあるプログラムの中から選択することになります。プログラムの選択方法の詳細等については毎年開催されるプログラム選択説明会で説明しますので、必ず参加して確認してください。不明な点は人社系学生課教務・学生支援担当に問い合わせてください。

[選択プログラムの変更]

選択したプログラムでの学習が自分の考えていたものと違った場合や学習内容を変更したい場合には、他のプログラムへの変更を願い出ることができます。変更希望先のプログラムにおいて、同じ入学年度の学生数が適正上限に満たない時には、願い出が認められます。原則として、プログラムを移って以後6学期の履修が必要です。また、出願前に、少なくとも変更希望先プログラムの教員に必ず相談をし、指導を受けてください。プログラムの変更は2年次以降、毎年7月と12月に出願期間が設けられています。

8. 英語による履修プログラムについて

本学の推進する「徹底した国際化による、グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立」というテーマに基づき、本学類では英語履修プログラム「言語文化学」を開設しています。

このプログラムは、選択しているプログラムでの所定の学修に加えて、言語を中心とする文化の固有性や多様性を英語によって学際的・分野横断的に学ぶ補完的なプログラムであり、いずれのプログラムを選択していても登録することが可能です。登録後、定められた科目を履修し、単位を取得することにより、卒業時に本プログラムの修了書が授与されます。

この英語履修プログラム「言語文化学」への登録は、2年次以降所定の手続きを経て決定します。詳細は別に掲示等でお知らせします。

プログラム別履修科目一覧と教育方針・履修上の注意

- (1) 学類共通（学域 GS 科目，学域 GS 言語科目，人文学基盤科目，卒論関係）履修科目一覧
- (2) プログラム別履修科目一覧と教育方針・履修上の注意

以下に掲げるのは，人文学類共通及び7つのプログラムの，卒業するために必要な単位数一覧表と，教育方針・履修上の注意点です。

2年次以降のプログラムにおける単位修得方法の基本になるものですから，随時参照し，疑問点はアドバイザー教員や人社系教務係に尋ねてください。

学類共通（学域GS科目，学域GS言語科目，人文学基盤科目，卒論関係）

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	
			必修	選択必修		
初学者科目	アカデミックスキル	1	1		1年	
	プレゼン・ディベート論	1	1		1年	
学域GS科目	ジェンダーと教育	1			1年～4年	
	異文化理解 1	1			1年～4年	
	異文化理解 2	1			1年～4年	
	国際学入門E	1			1年～4年	
	日本文化E	1			1年～4年	
	文学概論 1	1			1年～4年	
	文学概論 2	1			1年～4年	
	世界遺産学	1			1年～4年	
	ルールリテラシー	1			1年～4年	
	人文社会科学における法	1			1年～4年	
	イメージの比較文化学	1			1年～4年	
	防災学入門	2			1年～4年	
	マクロ経済学I	2			2年～4年	
	ミクロ経済学I	2			1年～4年	
	経営学概論	2			1年～4年	
	経済史	2			2年～4年	
	基礎統計学	2			1年～4年	
	経済学史	2			2年～4年	
	日本経済論	2			1年～4年	
	経済事情（日本の財政金融と北陸経済）	2			2年～4年	
	金沢大学の歴史を学ぶ（自校教育入門）	1			1年～4年	
	泉鏡花と金沢アート（STEAM教育入門）	1			1年～4年	
	質的統合法（KJ法）基礎を学ぶ	1			1年～4年	
	イノベーション人材論	1			1年～4年	
	アジア研究基礎	1			2年～4年	
	現代日本の文化と社会	1			2年～4年	
	地域創造学 1	1			2年～4年	
	地域創造学 2	1			2年～4年	
	教育の制度と経営	2			3年～4年	
	生徒の生活と進路の指導論	2			3年～4年	
	教育の思想と歴史（日本）	1			学校教育学 類共同教員 養成課程生 のみ履修可	
	教育制度概論（就学保障と学校安全）	1				
	道徳教育論（指導法）	1				
	子どもの生活とキャリア教育	1				
	ベーシック法学	2				
	学域GS俯瞰発展系科目群 ※1					
GS科目発展系科目群 ※2						
データサイエンス応用系科目	データサイエンスの技術	1			1年～4年	
	国際経済の理論とデータ	1			2年～4年	
	国際貿易の理論とデータ	1			2年～4年	
	データの活用に向けた線形代数学入門	2			2年～4年	
	情報処理	1			2年～4年	
	計量政治分析実習	2			3年～4年	
	人文学のためのデータサイエンスA	1			1年～4年	
	人文学のためのデータサイエンスB	1			1年～4年	
	政治・行政の調査と分析A	1			1年～4年	
	政治・行政の調査と分析B	1			1年～4年	
	学校教育データサイエンス応用A	1			3年～4年	
	学校教育データサイエンス応用B	1			3年～4年	
	地域情報分析概論Ⅰ	1			1年～4年	
	地域情報分析概論Ⅱ	1			1年～4年	
	機械学習による企業の競争優位性の創出	1			1年～4年	
	統計学技能Ⅰ	2			-	
	学域GS言語科目	統計学技能Ⅱ	3			-
		学域データサイエンス系発展系科目群 ※1				
		GS科目発展系科目群 ※2				
		学域GS科目 小計		8		
学域GS言語科目Ⅰ		1			2年 海外研修等 留学生対象	
学域GS言語科目Ⅰ（日本語）		1				
学域GS言語科目Ⅱ		1			2年 海外研修等 留学生対象	
学域GS言語科目Ⅱ（日本語）		1				
学域GS言語科目Ⅲ（Presentation）		1			2年	
学域GS言語科目Ⅲ（Interaction）		1				
学域GS言語科目Ⅲ（English for STEM）		1				
学域GS言語科目Ⅲ（Socience and Society）		1				
学域GS言語科目Ⅲ（Reading and Discussion）		1			2年	
学域GS言語科目 小計			2			
人文学基盤科目	人文学序説A	1	1		1～4年	
	人文学序説B	1	1		1～4年	
	人文学序説C	1	1		1～4年	
	人文学序説D	1	1		1～4年	
	現代社会・人間学入門	1			1～4年	
	哲学の起源	1			1～4年	
	社会情報学A	1			1～4年	
	社会情報学B	1			1～4年	
	ジェンダーと社会A	1			1～4年	
	ジェンダーと社会B	1			1～4年	
	知覚・認知心理学A ※3	1			2～4年	
	知覚・認知心理学B ※3	1			2～4年	
	学習・言語心理学A ※3	1			2～4年	
	学習・言語心理学B ※3	1			2～4年	
	感情・人格心理学A ※3	1			2～4年	
	感情・人格心理学B ※3	1			2～4年	
	古代文明論	1			2～4年	
	北陸の考古学	1			2～4年	
	宗教芸術論	1			2～4年	
	イメージを読み解く	1			2～4年	
	グローバルヒストリー	1			2～4年	
	歴史学と現在 1	1			1～4年	
	歴史学と現在 2	1			1～4年	
	日本語学講義 1	1			2～4年	
	日本の物語と語り物	1			2～4年	
	日本文学の近代	1			2～4年	
	日本文学とメディア	1			2～4年	
	中国の言語文化A	1			2～4年	
中国の言語文化B	1			2～4年		
言語研究入門	1			2～4年		
文学研究入門	1			2～4年		
比較文学入門	1			2～4年		
言語認知科学入門	1			2～4年		
人文学基盤科目 小計		14				
卒論関係	卒業論文演習A	1	1		4年	
	卒業論文演習B	1	1		4年	
	卒業論文演習C	1	1		4年	
	卒業論文演習D	1	1		4年	
	卒業論文	6	6		4年	
卒業関係 小計		10				

※1 当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、履修登録期間前に公示する。

※2 学域GS科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS科目発展系科目群」の科目（GS科目の発展系として位置づけられる科目を言う。）を履修することができる。
なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4月初めに公示する。

※3 心理学プログラムの心理学モデルにおいては履修を推奨する科目（○）、公認心理師取得モデルにおいては履修を強く推奨する科目（◎）になる。

※4 学校教育学類以外の教員免許取得のための科目でもある「教育の制度と経営」及び「生徒の生活と進路の指導論」は履修登録単位数の上限（CAP）の対象としない。

○選択科目には、以下の単位が含まれる。

- ①学域GS科目のうち、8単位を超えて修得した単位
- ②学域GS言語科目のうち、2単位を超えて修得した単位（上限2単位）
- ③人文学基盤科目のうち、14単位を超えて修得した単位
- ④選択したプログラムの授業科目のうち、卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
- ⑤人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
- ⑥他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限24単位）

心理学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	心理学モデル	公認心理師取得モデル	備考
			必修	選択必修				
	学域GS科目 ※1	-	8		学類共通 参照	●	●	
	学域GS言語科目	-	2			●	●	
	人文学基盤科目	-	14			●	●	
	卒論関係	-	10			●	●	
基礎講義	心理学概論A	1	1	8	2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	心理学概論B	1	1		2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	臨床心理学概論A	1	1		2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	臨床心理学概論B	1	1		2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	心理学統計法1A	1	1		2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	心理学統計法1B	1	1		2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	心理学統計法2A	1	1		2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	心理学統計法2B	1	1		2～4年	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	基礎社会統計学1	1		2～4年	○		選択科目として履修	
	基礎社会統計学2	1		2～4年	○		選択科目として履修	
	応用倫理学	2		2～4年	○		選択科目として履修	
	社会学概論1	1		1～4年	○		選択科目として履修	
	社会学概論2	1		1～4年	○		選択科目として履修	
	社会調査基礎1	1		1～4年	○		選択科目として履修	
	社会調査基礎2	1		1～4年	○		選択科目として履修	
	哲学概論A	2		1～4年	○		選択科目として履修	
	哲学概論B	2		1～4年	○		選択科目として履修	
	音声学1	1		2～4年	○		選択科目として履修	
	音声学2	1		2～4年	○		選択科目として履修	
	音声学3	1		2～4年	○		選択科目として履修	
	音声学4	1		2～4年	○		選択科目として履修	
言語と認知A1	1		2～4年	○		選択科目として履修		
言語と認知A2	1		2～4年	○		選択科目として履修		
プログラム指定の専門科目	社会・集団・家族心理学A	1		6	2～4年		◎	公認心理師科目
	社会・集団・家族心理学B	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	心理学特殊講義A	1			2～4年	○		
	心理学特殊講義B	1			2～4年	○		
	応用心理学特殊講義A	1			2～4年	○		
	応用心理学特殊講義B	1			2～4年	○		
	神経・生理心理学A	1			2～4年	○	◎	公認心理師科目
	神経・生理心理学B	1			2～4年	○	◎	公認心理師科目
	健康・医療心理学A	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	健康・医療心理学B	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	司法・犯罪心理学A	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	司法・犯罪心理学B	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	産業・組織心理学A	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	産業・組織心理学B	1			2～4年		◎	公認心理師科目
	公認心理師の職責	2			2～4年		◎	公認心理師科目
	心理的アセスメントA	1		2～4年		◎	公認心理師科目	
	心理的アセスメントB	1		2～4年		◎	公認心理師科目	
	障害者・障害児心理学A	1		2～4年		◎	公認心理師科目	
	障害者・障害児心理学B	1		2～4年		◎	公認心理師科目	
	発達心理学I	1		2～4年 学校教育学類開講		◎	公認心理師科目	
	発達心理学II	1		2～4年 学校教育学類開講		◎	公認心理師科目	
	心理学的支援法A	1		2～4年		◎	公認心理師科目	
	心理学的支援法B	1		2～4年		◎	公認心理師科目	
	福祉心理学I	1		2～4年		◎	公認心理師科目	
	福祉心理学II	1		2～4年		◎	公認心理師科目	
	教育・学校心理学A	1		2～4年		◎	公認心理師科目	
	教育・学校心理学B	1		2～4年		◎	公認心理師科目	
発展社会統計学1	1		2～4年	○		社会学開講科目		
発展社会統計学2	1		2～4年	○		社会学開講科目		
社会言語学1	1		2～4年	○		言語学開講科目		
社会言語学2	1		2～4年	○		言語学開講科目		
基礎演習・実習	心理学実験1A	1	1		2～4年 心理学プログラムは2年次必修	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	心理学実験1B	1	1		2～4年 心理学プログラムは2年次必修	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは2年次必修
	心理学実験2A	1	1		2～4年 心理学プログラムは2年次必修	●	●	心理学プログラムは2年次必修
	心理学実験2B	1	1		2～4年 心理学プログラムは2年次必修	●	●	心理学プログラムは2年次必修
	心理学研究法1A	1	1		3～4年 心理学プログラムは3年次必修	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは3年次必修
	心理学研究法1B	1	1		3～4年 心理学プログラムは3年次必修	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは3年次必修
心理学研究法2A	1	1		3～4年 心理学プログラムは3年次必修	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは3年次必修	

心理学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	心理学モデル	公認心理師取得モデル	備考
			必修	選択必修				
発展演習・実習	心理学研究法 2 B	1	1		3~4年 心理学プログラムは3年次必修	●	●	公認心理師科目 心理学プログラムは3年次必修
	心理学実験・調査演習A	1		} 2	原則として3年次必修	◎	◎	原則として3年次必修
	心理学実験・調査演習B	1			原則として3年次必修	◎	◎	原則として3年次必修
	心理学実験・調査演習C	1			3~4年	◎	◎	
	学習心理学演習A	1			} 8	2~4年	○	
	学習心理学演習B	1		2~4年		○		
	比較心理学演習A	1		2~4年		○		
	比較心理学演習B	1		2~4年		○		
	行動分析学演習A	1		2~4年			○	
	行動分析学演習B	1		2~4年		○		
	知覚心理学演習A	1		2~4年		○		
	知覚心理学演習B	1		2~4年		○		
	神経心理学演習A	1		2~4年		○	○	
	神経心理学演習B	1		2~4年		○	○	
	基礎心理学演習A	1		2~4年		○		
	基礎心理学演習B	1		2~4年		○		
	応用心理学演習A	1		2~4年		○		
	応用心理学演習B	1		2~4年		○		
	臨床心理学演習A	1		2~4年			○	
	臨床心理学演習B	1		2~4年			○	
	健康心理学演習A	1		2~4年		○	○	
	健康心理学演習B	1		2~4年		○	○	
	認知行動療法演習A	1		2~4年			○	
	認知行動療法演習B	1		2~4年			○	
	認知発達心理学演習A	1		2~4年		○		
	認知発達心理学演習B	1		2~4年		○		
	プログラム指定の専門科目 小計			32				
	選択科目 ※2			22				
合計			88					

履修モデルについて

- ：必修科目
- ◎：履修を強く推奨する科目
- ：履修を推奨する科目

※1 学域 GS 科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS 科目発展系科目群」の科目（GS 科目の発展系として位置づけられる科目を言う。）を履修することができる。
 なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4 月初めに公示する。

- ※2 選択科目には、以下の単位が含まれる。
- ①学域 GS 科目のうち、8 単位を超えて修得した単位
 - ②学域 GS 言語科目のうち、2 単位を超えて修得した単位（上限 2 単位）
 - ③人文学基盤科目のうち、14 単位を超えて修得した単位
 - ④選択したプログラムの授業科目のうち、卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
 - ⑤人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
 - ⑥他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限 24 単位）

現代社会・人間学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	哲学・倫理学	社会学	地理学	文化人類学	応用倫理学	現代社会論	
			必修	選択必修								
	学域GS科目 ※1	-	8			●	●	●	●	●	●	
	学域GS言語科目	-	2		学類共通参照	●	●	●	●	●	●	
	人文学基盤科目	-	14			●	●	●	●	●	●	
	卒論関係	-	10			●	●	●	●	●	●	
プログラム指定の専門科目	基礎講義	哲学概論A	2	12	1～4年	○			○	○	◎	
		哲学概論B	2		1～4年	○			○			
		人間学概説A	2		1～4年	○				◎		
		人間学概説B	2		1～4年	○					◎	
		西洋古代中世思想史A	2		2～4年	○						
		西洋古代中世思想史B	2		2～4年	○						
		西洋近世思想史A	2		1～4年	○						
		西洋近世思想史B	2		1～4年	○						
		西洋倫理思想史A	2		2～4年	○						
		西洋倫理思想史B	2		2～4年	○						
		応用倫理学	2		2～4年	○					◎	
		現代哲学	2		2～4年	○						○
		社会学概論1	1		1～4年	○	◎	○	○	○	○	◎
		社会学概論2	1		1～4年	○	◎	○	○	○	○	◎
		社会調査基礎1	1		2～4年		◎	○	○			
		社会調査基礎2	1		2～4年		◎	○	○			
		社会理論	1		2～4年		○					
		基礎社会統計学1	1		2～4年		○				○	
		基礎社会統計学2	1		2～4年		○				○	
	地域社会とジェンダーI	1	2～4年			○						
	医療社会学I	1	2～4年			○						
	公共社会学	1	2～4年			○						
	政策社会学	1	2～4年			○						
	社会システム論	1	2～4年			○						
	現代社会論	1	2～4年			○						
	地理学概論A	2	1～4年			○		◎	○		◎	
	地理学概論B	2	1～4年					◎	○			
	自然地理学概説A	2	1～4年					○				
	自然地理学概説B	2	1～4年					○				
	日本地誌A	2	1～4年					○			○	
	日本地誌B	2	1～4年					○			○	
	世界地誌A	2	1～4年					○			○	
	世界地誌B	2	1～4年					○			○	
	文化人類学概論A	1	1～4年			○	○	○	◎	○	◎	
文化人類学概論B	1	1～4年		○	○	○	◎	○				
発展講義	西洋古代中世哲学特殊講義	2	6	2～4年	○							
	近現代哲学特殊講義	2		2～4年	○				○	○		
	古代中世倫理思想特殊講義	2		2～4年	○							
	近現代倫理思想特殊講義	2		2～4年	○				○	○		
	人間学基礎講義A	1		2～4年	○				○			
	人間学基礎講義B	1		2～4年	○				○			
	人間学特殊講義A	1		2～4年	○							
	人間学特殊講義B	1		2～4年	○							
	発展社会統計学1	1		2～4年			○		○			
	発展社会統計学2	1		2～4年			○		○			
	社会学調査法1	1		2～4年			○		○			
	社会学調査法2	1		2～4年			○		○			
	経験社会学1	1		2～4年	○	○	○				○	
	経験社会学2	1		2～4年	○	○	○				○	
	地域社会とジェンダーII	1		2～4年		○						
	医療社会学II	1		2～4年		○						
	人文地理学特殊講義1	1		2～4年				○	○		○	
	人文地理学特殊講義2	1		2～4年				○	○		○	
	自然地理学特殊講義1	1		2～4年				○				
	自然地理学特殊講義2	1		2～4年				○				
	地誌学特殊講義1	1		2～4年				○				
	地誌学特殊講義2	1		2～4年				○				
	比較民族誌	1		2～4年		○	○	○	◎		○	
	文化人類学講義	1		2～4年		○	○	○	◎		○	
社会人類学講義	1	2～4年					◎					
人類学的異文化理解I	1	2～4年					◎					
人類学的異文化理解II	1	2～4年					◎					

現代社会・人間学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	哲学・倫理学	社会学	地理学	文化人類学	応用倫理学	現代社会論		
			必修	選択必修									
プログラム指定の専門科目	基礎演習・実習	西洋古代中世哲学基礎演習A	1	6	2～4年	○							
		西洋古代中世哲学基礎演習B	1		2～4年	○							
		近現代哲学基礎演習	2		2～4年	○							
		倫理思想基礎演習A	1		2～4年	○							
		倫理思想基礎演習B	1		2～4年	○							
		応用倫理学基礎演習A	1		2～4年	○					◎		
		応用倫理学基礎演習B	1		2～4年	○					◎		
		人間学基礎演習A	1		2～4年	○					○		
		人間学基礎演習B	1		2～4年	○					○		
		経験社会学演習	2		2～4年				◎		◎	○	○
		理論社会学演習	2		2～4年				○				
		社会情報学演習1	1		2～4年				○				
		社会情報学演習2	1		2～4年				○				
		公共社会学研究	1		2～4年				○				
		政策社会学研究	1		2～4年				○				
		社会システム論研究	1		2～4年				○				
		現代社会論研究	1		2～4年				○				
		地域調査入門演習1	1		2～4年						◎	○	○
		地域調査入門演習2	1		2～4年						◎	○	○
		人文地理学実習1	1		2～4年						◎		○
	人文地理学実習2	1	2～4年						◎		○		
	自然地理学実習1	1	2～4年						○				
	自然地理学実習2	1	2～4年						○				
	文化人類学演習A	1	2～4年							◎	○		
	文化人類学演習B	1	2～4年							◎	○		
	発展演習・実習	西洋古代中世哲学演習A	1	12	2～4年	○							
		西洋古代中世哲学演習B	1		2～4年	○							
		西洋古代中世哲学研究演習A	1		2～4年	○							
		西洋古代中世哲学研究演習B	1		2～4年	○							
		近現代哲学演習	2		2～4年	○							
		近現代哲学研究演習	2		2～4年	○							
		倫理思想演習A	1		2～4年	○					○		
		倫理思想演習B	1		2～4年	○					○		
		倫理思想研究演習A	1		2～4年	○					○		
		倫理思想研究演習B	1		2～4年	○					○		
		人間学演習A	1		2～4年	○							
人間学演習B		1	2～4年		○								
人間学研究演習A		1	2～4年		○					○			
人間学研究演習B		1	2～4年		○					○			
応用社会学演習1		1	2～4年					○		○	○	○	
応用社会学演習2		1	2～4年					○		○	○	○	
ジェンダーと社会演習1		1	2～4年					○		○	○	○	
ジェンダーと社会演習2		1	2～4年					○		○	○	○	
人文地理学演習1		1	2～4年							○		○	
人文地理学演習2		1	2～4年							○		○	
自然地理学演習1	1	2～4年						○					
自然地理学演習2	1	2～4年						○					
地誌学演習1	1	2～4年						○	○	○			
地誌学演習2	1	2～4年						○	○	○			
現代社会・人間学実習A	1	1	3～4年	●	●	●	●	●	●	●			
現代社会・人間学実習B	1	1	3～4年	●	●	●	●	●	●	●			
現代社会・人間学実習C	1	1	3～4年	●	●	●	●	●	●	●			
現代社会・人間学実習D	1	1	3～4年	●	●	●	●	●	●	●			
現代社会・人間学実習E	2		3～4年		◎	◎	◎						
現代社会・人間学実習F	2		3～4年		◎								
プログラム指定の専門科目 小計			36										
選択科目 ※2			18										
合計			88										

履修モデルについて

- ：必修科目
- ◎：履修を強く推奨する科目
- ：履修を推奨する科目

※1 学域GS科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際教養教育院が提供する「GS科目発展系科目群」の科目（GS科目の発展系として位置づけられる科目を言う。）を履修することができる。
 なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4月初めに公示する。

- ※2 選択科目には、以下の単位が含まれる。
- ①学域GS科目のうち、8単位を超えて修得した単位
 - ②学域GS言語科目のうち、2単位を超えて修得した単位（上限2単位）
 - ③人文学基盤科目のうち、14単位を超えて修得した単位
 - ④選択したプログラムの授業科目のうち、卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
 - ⑤人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
 - ⑥他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限24単位）

考古学・文化資源学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	文化資源学	考古学	文化遺産学	比較文化学	美術史・建築史学	宗教学・民俗学		
			必修	選択必修									
	学域GS科目 ※1	-	8		学類共通参照	●	●	●	●	●	●		
	学域GS言語科目	-	2			●	●	●	●	●	●		
	人文学基盤科目	-	14			●	●	●	●	●	●		
	卒論関係	-	10			●	●	●	●	●	●		
プログラム指定の専門科目	基礎講義	考古学・文化資源学概説A	1	1	12	1年	●	●	●	●	●		
		考古学・文化資源学概説B	1	1		1年	●	●	●	●	●	●	
		比較文化学概説A	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
		比較文化学概説B	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
		文化遺産学概説A	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
		文化遺産学概説B	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
		考古学概説A	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
		考古学概説B	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
		文化資源学の方法論	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
		考古学の方法論	1	1		2年	●	●	●	●	●	●	
	プログラム基礎実習	2	2	2年	●	●	●	●	●	●			
	発展講義	比較文化論	1			8	2年	○		○		○	
		南アジア文化論	1				2年				○		○
		仏教文化論	1				2年				○		○
		日本の思想と宗教	1				2年				○		○
		文化交流史	1				2年	○			○		○
		宗教文化論	1				2年				○		○
		宗教造形論A	1				2年				○		○
		宗教造形論B	1				2年				○		○
		東アジア文化遺産学A	1				2年	○		○			
		東アジア文化遺産学B	1				2年	○		○			
		オリエント文化遺産学A	1				2年						
		オリエント文化遺産学B	1				2年						
		西洋美術史A	1				2年	○		○		○	
		西洋美術史B	1				2年	○		○		○	
		西洋美術史C	1				2年			○		○	
		西洋美術史D	1				2年			○		○	
		比較美術史A	1				2年			○		○	
比較美術史B		1			2年				○		○		
地域考古学A	1			2年		○							
地域考古学B	1			2年		○							
社会考古学A	1			2年		○							
社会考古学B	1			2年		○							
比較考古学A	1			2年	○	○							
比較考古学B	1			2年	○	○							
考古科学A	1			2年		○							
考古科学B	1			2年		○							
基礎演習・実習	比較文化論演習A	1			8	2年			○		○		
	比較文化論演習B	1				2年				○		○	
	南アジア文化論演習A	1				2年				○		○	
	南アジア文化論演習B	1				2年				○		○	
	文化交流史演習A	1				2年	○			○		○	
	文化交流史演習B	1				2年	○			○		○	
	宗教造形論演習A	1				2年				○		○	
	宗教造形論演習B	1				2年				○		○	
	美術史演習A	1				2年			○		○	○	
	美術史演習B	1				2年			○		○	○	
	東アジア文化遺産学演習A	1				2年			○				
	東アジア文化遺産学演習B	1				2年			○				
	オリエント考古学演習A	1				2年	○	○	○		○		
	オリエント考古学演習B	1				2年	○	○	○		○		
	地域考古学演習A	1				2年	○	○	○				
	地域考古学演習B	1				2年	○	○	○				
	社会考古学演習A	1				2年		○					
	社会考古学演習B	1				2年		○					
	比較考古学演習A	1				2年		○					
	比較考古学演習B	1				2年		○					
考古科学演習A	1			2年		○							
考古科学演習B	1			2年		○							
考古学実習1	1			2年		○							
考古学実習2	1			2年		○							
考古学実習3	1			2年		○							
考古学実習4	1			2年		○							

考古学・文化資源学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	文化資源学	考古学	文化遺産学	比較文化学	美術史・ 建築史学	宗教学・ 民俗学	
			必修	選択必修								
発展演習・実習	比較文化学実習A	1	4		3年				○		○	
	比較文化学実習B	1			3年				○		○	
	比較文化学実習C	1			3年				○	○		
	比較文化学実習D	1			3年				○	○		
	文化遺産学実習A	1			3年	○		○		○		
	文化遺産学実習B	1			3年	○		○		○		
	文化遺産学実習C	1			3年	○		○			○	
	文化遺産学実習D	1			3年	○		○			○	
	考古学実習A	1			3年	○	○					
	考古学実習B	1			3年	○	○					
	考古学実習C	1			3年	○	○					
	考古学実習D	1			3年	○	○					
	学芸高科目	博物館実習A			1			4年 ※3				
博物館実習B		1			4年 ※3							
博物館実習C		1			4年 ※3							
博物館実習D		1			4年 ※3							
博物館概論A		1			1～4年							
博物館概論B		1			1～4年							
博物館資料論A		1			2～4年							
博物館資料論B		1			2～4年							
博物館経営論A		1			2～4年							
博物館経営論B		1			2～4年							
博物館資料保存論A		1			2～4年							
博物館資料保存論B		1			2～4年							
博物館展示論A		1			2～4年							
博物館展示論B		1			2～4年							
博物館教育論A		1			2～4年							
博物館教育論B		1			2～4年							
博物館情報・メディア論A		1			2～4年							
博物館情報・メディア論B		1			2～4年							
生涯学習論A	1			2～4年								
生涯学習論B	1			2～4年								
プログラム指定の専門科目 小計			32									
選択科目 ※2			22									
合計			88									

履修モデルについて

- ：必修科目
- ◎：履修を強く推奨する科目
- ：履修を推奨する科目

※1 学域 GS 科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS 科目発展系科目群」の科目（GS 科目の発展系として位置づけられる科目を言う。）を履修することができる。
 なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4 月初めに公示する。

- ※2 選択科目には、以下の単位が含まれる。
- ①学域 GS 科目のうち、8 単位を超えて修得した単位
 - ②学域 GS 言語科目のうち、2 単位を超えて修得した単位（上限 2 単位）
 - ③人文学基盤科目のうち、14 単位を超えて修得した単位
 - ④選択したプログラムの授業科目のうち、卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
 - ⑤人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
 - ⑥他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限 24 単位）

※3 「博物館実習」は、原則として学芸員資格取得に必要な科目全ての単位を修得した者のみ履修を認める。
 また、必要科目全ての単位を修得した 3 年生の履修も認める。

歴史学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	履修モデル			備考
			必修	選択必修		日本史	東洋史	西洋史	
プログラム指定の専門科目	奈良平安時代史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本近世前期史演習A 1	1			2～4年	○			
	日本近世前期史演習A 2	1			2～4年	○			
	日本近世前期史演習B 1	1			2～4年	○			
	日本近世前期史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本近世中期史演習A 1	1			2～4年	○			
	日本近世中期史演習A 2	1			2～4年	○			
	日本近世中期史演習B 1	1			2～4年	○			
	日本近世中期史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本近世後期史演習A 1	1			2～4年	○			
	日本近世後期史演習A 2	1			2～4年	○			
	日本近世後期史演習B 1	1			2～4年	○			
	日本近世後期史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本近代史演習A 1	1			2～4年	○			
	日本近代史演習A 2	1			2～4年	○			
	日本近代史演習B 1	1			2～4年	○			
	日本近代史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本現代史演習A 1	1			2～4年	○			
	日本現代史演習A 2	1			2～4年	○			
	日本現代史演習B 1	1			2～4年	○			
	日本現代史演習B 2	1			2～4年	○			
	日本近現代史演習A 1	1			2～4年	○			
	日本近現代史演習A 2	1			2～4年	○			
	日本近現代史演習B 1	1			2～4年	○			
	日本近現代史演習B 2	1			2～4年	○			
	中国古代中世史演習A 1	1			2～4年		○		
	中国古代中世史演習A 2	1			2～4年		○		
	中国近世史演習A 1	1			2～4年		○		
	中国近世史演習A 2	1			2～4年		○		
	中国古代中世史演習B 1	1			3～4年		○		
	中国古代中世史演習B 2	1			3～4年		○		
	中国近世史演習B 1	1			3～4年		○		
	中国近世史演習B 2	1			3～4年		○		
	東アジア政治制度史演習A 1	1			2～4年		○		
	東アジア政治制度史演習A 2	1			2～4年		○		
	東アジア社会経済史演習A 1	1			2～4年		○		
	東アジア社会経済史演習A 2	1			2～4年		○		
	東アジア政治制度史演習B 1	1			3～4年		○		
	東アジア政治制度史演習B 2	1			3～4年		○		
	東アジア社会経済史演習B 1	1			3～4年		○		
	東アジア社会経済史演習B 2	1			3～4年		○		
	東洋史学研究法基礎演習A	1			3～4年		○		
	東洋史学研究法基礎演習B	1			3～4年		○		
	東洋史学研究法展開演習A	1			3～4年		○		
	東洋史学研究法展開演習B	1			3～4年		○		
	地中海世界政治史演習	2			2～4年			○	
	地中海世界社会史演習	2			2～4年			○	
地中海世界国際関係史演習	2			2～4年			○		
西洋中世都市史演習A	1			2～4年			○		
西洋中世都市史演習B	1			2～4年			○		
西洋中世国制史演習A	1			2～4年			○		
西洋中世国制史演習B	1			2～4年			○		
西洋中世社会史演習A	1			2～4年			○		
西洋中世社会史演習B	1			2～4年			○		
西洋近代国際関係史演習A	1			2～4年			○		
西洋近代国際関係史演習B	1			2～4年			○		
西洋近代政治文化史演習A	1			2～4年			○		
西洋近代政治文化史演習B	1			2～4年			○		
西洋近代文化表象史演習A	1			2～4年			○		
西洋近代文化表象史演習B	1			2～4年			○		
実習科目	日本史学実習A 1	1			2～4年	◎			
	日本史学実習A 2	1			2～4年	◎			
	日本史学実習B 1	1			2～4年	◎			
	日本史学実習B 2	1			2～4年	◎			

歴史学プログラム

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
プログラム指定の専門科目	実習科目	東洋史学基礎実習A	1	4	2～4年
		東洋史学基礎実習B	1		2～4年
		東洋史学展開実習A	1		2～4年
		東洋史学展開実習B	1		2～4年
		西洋史学実習A1	1		3～4年
		西洋史学実習A2	1		3～4年
		西洋史学実習B1	1		3～4年
		西洋史学実習B2	1		3～4年
		プログラム指定の専門科目 小計			33
選択科目 ※2			21		
合計			88		

履修モデル

日本史	東洋史	西洋史	備考
	◎		
	◎		
	◎		
	◎		
		◎	
		◎	
		◎	
		◎	

履修モデルについて

- ：必修科目
- ◎：履修を強く推奨する科目
- ：履修を推奨する科目

- ※1 学域 GS 科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS 科目発展系科目群」の科目（GS 科目の発展系として位置づけられる科目を言う。）を履修することができる。
なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4 月初めに公示する。
- ※2 選択科目には、以下の単位が含まれる。
- ①学域 GS 科目のうち、8 単位を超えて修得した単位
 - ②学域 GS 言語科目のうち、2 単位を超えて修得した単位（上限 2 単位）
 - ③人文学基盤科目のうち、14 単位を超えて修得した単位
 - ④選択したプログラムの授業科目のうち、卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
 - ⑤人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
 - ⑥他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限 24 単位）

日本・中国言語文化学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	日本語学 日本文学	中国語学 中国文学	日本・中国 言語文化 学総合	比較文学		
			必修	選択必修					A群	B群	
発展講義	中国文学史B 1	1	10		2～4年	○	◎	○	○		
	中国文学史B 2	1			2～4年	○	○	○	○		
	中国語文献読解基礎A 1	1			2～4年	○	◎	○	○		
	中国語文献読解基礎A 2	1			2～4年	○	○	○	○		
	中国語文献読解基礎B 1	1			2～4年	○	◎	○	○		
	中国語文献読解基礎B 2	1			2～4年	○	○	○	○		
	中国の文化と社会C 1	1			2～4年	○	◎	○			
	中国の文化と社会C 2	1			2～4年	○	◎	○			
	中国の文化と社会E 1	1			2～4年	○	○	◎			
	中国の文化と社会E 2	1			2～4年	○	○	○			
	英米文学特殊講義A 1	1			2～4年					○	
	英米文学特殊講義A 2	1			2～4年					○	
	英米文学特殊講義B 1	1			2～4年					○	
	英米文学特殊講義B 2	1			2～4年					○	
	英語圏文学特殊講義 1	1			2～4年					○	
	英語圏文学特殊講義 2	1			2～4年					○	
	ドイツ文学講義A 2	1			2～4年					○	
	ドイツ文学講義B 2	1			2～4年					○	
	ドイツ文学講義C 2	1			2～4年					○	
	ドイツ文学講義D 2	1			2～4年					○	
フランス文学特殊講義A 1	1	2～4年					○				
フランス文学特殊講義A 2	1	2～4年					○				
フランス文学特殊講義B 1	1	2～4年					○				
フランス文学特殊講義B 2	1	2～4年					○				
プログラム指定の専門科目	日本語学演習A 1	1	8		2～4年	◎		○			
	日本語学演習A 2	1			2～4年	◎		○			
	日本語学演習B 1	1			2～4年	○		◎			
	日本語学演習B 2	1			2～4年	○		◎			
	日本古典文学演習A 1	1			2～4年	◎		○	○		
	日本古典文学演習A 2	1			2～4年	◎		○	○		
	日本古典文学演習B 1	1			2～4年	○		◎	○		
	日本古典文学演習B 2	1			2～4年	○		◎	○		
	日本近代文学演習A 1	1			2～4年	◎		○	○		
	日本近代文学演習A 2	1			2～4年	◎		○	○		
	日本現代文学演習A 1	1			2～4年	◎		○	○		
	日本現代文学演習A 2	1			2～4年	◎		○	○		
	中国語コミュニケーション初級 1	1			2～4年				◎	○	
	中国語コミュニケーション初級 2	1			2～4年				○	◎	○
	中国語コミュニケーション初級 3	1			2～4年				◎	◎	○
	中国語コミュニケーション初級 4	1			2～4年				○	◎	○
	中国語コミュニケーション初級 5	1			2～4年				◎	○	○
	中国語コミュニケーション初級 6	1			2～4年				○	○	○
	中国語コミュニケーション初級 7	1			2～4年				◎	○	○
	中国語コミュニケーション初級 8	1			2～4年				○	○	○
	中国語表現法A 1	1			2～4年				◎	○	
	中国語表現法A 2	1			2～4年				○	○	
	中国語表現法B 1	1			2～4年				◎	○	
	中国語表現法B 2	1			2～4年				○	○	
	現代中国時事文A 1	1			2～4年				◎	○	
	現代中国時事文A 2	1			2～4年				○	○	
	現代中国時事文B 1	1			2～4年				◎	○	
	現代中国時事文B 2	1			2～4年				○	○	
	英語圏文学演習A 1	1			2～4年						○
	英語圏文学演習A 2	1			2～4年						○
	英米文学演習A 1	1			2～4年						○
	英米文学演習A 2	1			2～4年						○
	英米文学演習B 1	1			2～4年						○
英米文学演習B 2	1	2～4年						○			
ドイツ文学演習A 1	1	2～4年						○			
ドイツ文学演習B 1	1	2～4年						○			
ドイツ文学演習C 1	1	2～4年						○			
ドイツ文学演習D 1	1	2～4年						○			
フランス文学分析演習A 1	1	2～4年						○			
フランス文学分析演習A 2	1	2～4年						○			
フランス文学演習A 1	1	2～4年						○			
フランス文学演習A 2	1	2～4年						○			

日本・中国言語文化学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
プログラム指定の専門科目 発展演習・実習	日本語学演習C 1	1			2～4年
	日本語学演習C 2	1			2～4年
	日本古典文学演習C 1	1			2～4年
	日本古典文学演習C 2	1			2～4年
	日本近代文学演習B 1	1			2～4年
	日本近代文学演習B 2	1			2～4年
	日本近代文学演習C 1	1			2～4年
	日本近代文学演習C 2	1			2～4年
	日本現代文学演習B 1	1			2～4年
	日本現代文学演習B 2	1			2～4年
	日本現代文学演習C 1	1			2～4年
	日本現代文学演習C 2	1			2～4年
	中国語学演習A 1	1			2～4年
	中国語学演習A 2	1			2～4年
	中国語学演習B 1	1			2～4年
	中国語学演習B 2	1			2～4年
	中国語学テーマ別演習A	1			2～4年
	中国語学テーマ別演習B	1			2～4年
	中国文学演習A 1	1		8	2～4年
	中国文学演習A 2	1			2～4年
	中国文学演習B 1	1			2～4年
	中国文学演習B 2	1			2～4年
	中国文学テーマ別演習A	1			2～4年
	中国文学テーマ別演習B	1			2～4年
	英語圏文学演習B 1	1			2～4年
	英語圏文学演習B 2	1			2～4年
	英語圏文学演習C 1	1			2～4年
	英語圏文学演習C 2	1			2～4年
	ドイツ文学演習A 2	1			2～4年
	ドイツ文学演習B 2	1			2～4年
	ドイツ文学演習C 2	1			2～4年
ドイツ文学演習D 2	1			2～4年	
フランス文学分析演習B 1	1			2～4年	
フランス文学分析演習B 2	1			2～4年	
フランス文学演習B 1	1			2～4年	
フランス文学演習B 2	1			2～4年	
プログラム指定の専門科目 小計			34		
選択科目 ※ 2			20		
合計			88		

日本語学 日本文学	中国語学 中国文学	日本・中国 言語文化 学総合	比較文学	
			A群	B群
◎		○		
◎		○		
◎		○	○	
◎		○	○	
◎		○	○	
◎		○	○	
○		◎	○	
○		◎	○	
○		◎	○	
○		◎	○	
	◎	◎		
	◎	○		
	○	◎		
	○	○		
	◎	○	○	
	◎	○	○	
	◎	○	○	
	○	◎	○	
	○	◎	○	
				○
				○
				○
				○
				○
				○
				○
				○
				○
				○
				○
				○
				○
				○
				○
				○
				○

履修モデルについて

- ：必修科目
- ◎：履修を強く推奨する科目
- ：履修を推奨する科目

注：日本・中国文学間の比較文学履修モデルは、同履修モデルのA群から34単位以上修得すること。
日本・中国文学と英米・ドイツ・フランス文学間のプログラム横断型比較文学履修モデルでは、同履修モデルのA群から20単位以上、B群から14単位以上(そのうち演習科目を4単位以上)修得すること。

※1 学域GS科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS科目発展系科目群」の科目(GS科目の発展系として位置づけられる科目を言う。)を履修することができる。
なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4月初めに公示する。

- ※2 選択科目には、以下の単位が含まれる。
 - ①学域GS科目のうち、8単位を超えて修得した単位
 - ②学域GS言語科目のうち、2単位を超えて修得した単位(上限2単位)
 - ③人文学基盤科目のうち、14単位を超えて修得した単位
 - ④選択したプログラムの授業科目のうち、卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
 - ⑤人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
 - ⑥他学域・他学類の授業科目で修得した単位(上限24単位)

欧米言語文化学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	英語学 英米文学	ドイツ言語 文化学	フランス言語 文化学	対照 言語学	比較文学		
			必修	選択必修						A群	B群	
	学域GS科目 ※1	-	8		学類共通 参照	●	●	●	●	●	●	
	学域GS言語科目	-	2			●	●	●	●	●	●	
	人文学基盤科目	-	14			●	●	●	●	●	●	
	卒論関係	-	10			●	●	●	●	●	●	
基礎講義	英語学概説A1	1	8		2～4年	◎	○	○	◎			
	英語学概説A2	1			2～4年	◎	○	○	◎			
	英語学概説B1	1			2～4年	◎			○			
	英語学概説B2	1			2～4年	◎			○			
	英語学総論1	1			2～4年	◎				◎		
	英語学総論2	1			2～4年	◎				◎		
	英文法講義A1	1			2～4年	◎				○		
	英文法講義A2	1			2～4年	◎				○		
	英文法講義B1	1			2～4年	◎				○		
	英文法講義B2	1			2～4年	◎				○		
	ドイツ語学概説A1	1			2～4年	○	◎	○	◎			
	ドイツ語学概説A2	1			2～4年	○	◎	○	◎			
	ドイツ語学概説B1	1			2～4年		◎		◎			
	ドイツ語学概説B2	1			2～4年		◎		◎			
	ドイツ語学講義A1	1			2～4年		○		○			
	ドイツ語学講義B1	1			2～4年		○		○			
	ドイツ語学講義C1	1			2～4年		○		○			
	フランス語学概説A1	1			2～4年	○	○	◎	◎			
	フランス語学概説A2	1			2～4年	○	○	◎	◎			
	フランス語学概説B1	1			2～4年			◎	◎			
	フランス語学概説B2	1			2～4年			◎	◎			
	英米文学史A1	1			2～4年	◎	○	○			◎	
	英米文学史A2	1			2～4年	◎	○	○			◎	
	英米文学史B1	1			2～4年	◎					◎	
	英米文学史B2	1			2～4年	◎					◎	
	北米文化論1	1			2～4年	○					○	
	北米文化論2	1			2～4年	○					○	
	ドイツ文学史A1	1			2～4年			◎			◎	
	ドイツ文学史A2	1			2～4年			◎			◎	
	ドイツ文学史B1	1			2～4年	○	◎	○			◎	
	ドイツ文学史B2	1			2～4年	○	◎	○			◎	
	ドイツ文学講義A1	1			2～4年			○			○	
	ドイツ文学講義B1	1			2～4年			○			○	
	ドイツ文学講義C1	1			2～4年			○			○	
	ドイツ文学講義D1	1			2～4年			○			○	
	フランス文学史A1	1			2～4年					◎		◎
	フランス文学史A2	1			2～4年					◎		◎
	フランス文学史B1	1			2～4年	○	○	◎			◎	
	フランス文学史B2	1			2～4年	○	○	◎			◎	
	言語学概論A	1			2～4年						○	
	言語学概論B	1			2～4年						○	
	言語学概論C	1			2～4年						○	
言語学概論D	1	2～4年						○				
日本の近代文学1	1	2～4年							○			
日本の近代文学2	1	2～4年							○			
日本の現代文学1	1	2～4年							○			
日本の現代文学2	1	2～4年							○			
漢文学概説1	1	2～4年							○			
漢文学概説2	1	2～4年							○			
中国文学概説1	1	2～4年							○			
中国文学概説2	1	2～4年							○			
発展講義	英語学講義A1	1	2～4年	◎				○				
	英語学講義A2	1	2～4年	◎				○				
	英語学講義B1	1	2～4年	◎				○				
	英語学講義B2	1	2～4年	◎				○				
	英米文学特殊講義A1	1	2～4年	◎					○			
	英米文学特殊講義A2	1	2～4年	◎					○			
	英米文学特殊講義B1	1	2～4年	◎					○			
	英米文学特殊講義B2	1	2～4年	◎					○			
	英語圏文学特殊講義1	1	2～4年	◎					○			
	英語圏文学特殊講義2	1	2～4年	◎					○			
	英米言語文化概説A1	1	2～4年	○				○	○			
	英米言語文化概説A2	1	2～4年	○				○	○			
	英米言語文化概説B1	1	2～4年	○				○	○			
	英米言語文化概説B2	1	2～4年	○				○	○			

欧米言語文化学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	英語学 英米文学	ドイツ言語 文化学	フランス言語 文化学	対照 言語学	比較文学	
			必修	選択必修						A群	B群
発展講義	ドイツ語学講義A 2	1			2～4年		○		○		
	ドイツ語学講義B 2	1			2～4年		○		○		
	ドイツ語学講義C 2	1			2～4年		○		○		
	ドイツ文学講義A 2	1			2～4年		○			○	
	ドイツ文学講義B 2	1			2～4年		○			○	
	ドイツ文学講義C 2	1			2～4年		○			○	
	ドイツ文学講義D 2	1			2～4年		○			○	
	フランス文学特殊講義A 1	1		6		2～4年		○			○
	フランス文学特殊講義A 2	1				2～4年		○			○
	フランス文学特殊講義B 1	1				2～4年		○			○
	フランス文学特殊講義B 2	1				2～4年		○			○
	日本近代文学史講義	1				2～4年					○
	日本現代文学史講義	1				2～4年					○
	日本近代文学研究法	1				2～4年					○
	日本現代文学研究法	1				2～4年					○
	日本文芸思潮講義	1				2～4年					○
	日本近代比較文学講義	1				2～4年					○
	日本現代比較文学講義	1				2～4年					○
	漢文学史A 1	1				2～4年					○
	漢文学史A 2	1				2～4年					○
	漢文学史B 1	1				2～4年					○
	漢文学史B 2	1				2～4年					○
	中国文学研究 1	1				2～4年					○
	中国文学研究 2	1				2～4年					○
	中国文学史A 1	1				2～4年					○
	中国文学史A 2	1				2～4年					○
	中国文学史B 1	1				2～4年					○
	中国文学史B 2	1				2～4年					○
	中国語文献読解基礎A 1	1				2～4年					○
	中国語文献読解基礎A 2	1				2～4年					○
	中国語文献読解基礎B 1	1				2～4年					○
	中国語文献読解基礎B 2	1				2～4年					○
プログラム指定の専門科目	英文法研究A 1	1			2～4年	◎			◎		
	英文法研究A 2	1			2～4年	◎			◎		
	英文法研究B 1	1			2～4年	◎			◎		
	英文法研究B 2	1			2～4年	◎			◎		
	英語学理論研究 1	1			2～4年	◎			◎		
	英語学理論研究 2	1			2～4年	◎			◎		
	英語認知論A 1	1			2～4年	◎			◎		
	英語認知論A 2	1			2～4年	◎			◎		
	英語認知論B 1	1			2～4年	◎			◎		
	英語認知論B 2	1			2～4年	◎			◎		
	英語学基礎演習 1	1			2～4年	◎			◎		
	英語学基礎演習 2	1			2～4年	◎			◎		
	ドイツ語学演習A 1	1			2～4年		○		◎		
	ドイツ語学演習B 1	1			2～4年		○		◎		
	ドイツ語学演習C 1	1			2～4年		○		◎		
	英語圏文学演習A 1	1			2～4年	◎				◎	
	英語圏文学演習A 2	1			2～4年	◎				◎	
	英米文学演習A 1	1			2～4年	◎				◎	
	英米文学演習A 2	1			2～4年	◎				◎	
	英米文学演習B 1	1			2～4年	◎				◎	
	英米文学演習B 2	1			2～4年	◎				◎	
	ドイツ文学演習A 1	1			2～4年		○			◎	
	ドイツ文学演習B 1	1			2～4年		○			◎	
	ドイツ文学演習C 1	1			2～4年		○			◎	
	ドイツ文学演習D 1	1			2～4年		○			◎	
	フランス文学分析演習A 1	1			2～4年			◎			◎
	フランス文学分析演習A 2	1			2～4年			◎			◎
	フランス文学演習A 1	1			2～4年			○			◎
	フランス文学演習A 2	1			2～4年			○			◎
	フランス語作文表現法(基礎) 1	1			2～4年			○	○		○
	フランス語作文表現法(基礎) 2	1			2～4年			○	○		○
	英語表現法A 1	1			2～4年	○			○		○
英語表現法A 2	1			2～4年	○			○		○	

欧米言語文化学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	英語学 英米文学	ドイツ言語 文化学	フランス言語 文化学	対照 言語学	比較文学	
			必修	選択必修						A群	B群
基礎演習・コミュニケーション科目 プログラム指定の専門科目	英語表現法B 1	1			2～4年	○			○	○	
	英語表現法B 2	1			2～4年	○			○	○	
	英語プレゼンテーション1	1			2～4年	◎			◎	◎	
	英語プレゼンテーション2	1			2～4年	◎			◎	◎	
	英語コミュニケーション1	1			2～4年	◎			◎	◎	
	英語コミュニケーション2	1			2～4年	◎			◎	◎	
	ドイツ語読解基礎1	1			2～4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語読解基礎2	1			2～4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語コミュニケーション初級1	1		16	2～4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語コミュニケーション初級2	1			2～4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語コミュニケーション初級3	1			2～4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語コミュニケーション初級4	1			2～4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語コミュニケーション初級5	1			2～4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語コミュニケーション初級6	1			2～4年		◎		◎	◎	
	ドイツ語コミュニケーション中級1	1			3～4年		◎				
	ドイツ語コミュニケーション中級2	1			3～4年		◎				
	ドイツ語コミュニケーション中級3	1			3～4年		◎				
	ドイツ語コミュニケーション中級4	1			3～4年		◎				
	ドイツ語コミュニケーション中級5	1			3～4年		◎				
	ドイツ語コミュニケーション中級6	1			3～4年		◎				
	フランス語コミュニケーション初級1	1			2～4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション初級2	1			2～4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション初級3	1			2～4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション初級4	1			2～4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション初級5	1			2～4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション初級6	1			2～4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション初級7	1			2～4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション初級8	1			2～4年			◎	◎	◎	
	フランス語コミュニケーション中級1	1			3～4年			◎			
	フランス語コミュニケーション中級2	1			3～4年			◎			
	フランス語コミュニケーション中級3	1			3～4年			◎			
	フランス語コミュニケーション中級4	1			3～4年			◎			
フランス語コミュニケーション中級5	1			3～4年			◎				
フランス語コミュニケーション中級6	1			3～4年			◎				
フランス語コミュニケーション中級7	1			3～4年			◎				
フランス語コミュニケーション中級8	1			3～4年			◎				
日本近代文学演習A 1	1			2～4年						○	
日本近代文学演習A 2	1			2～4年						○	
日本現代文学演習A 1	1			2～4年						○	
日本現代文学演習A 2	1			2～4年						○	
発展演習	英語学理論演習A 1	1			2～4年	◎			◎		
	英語学理論演習A 2	1			2～4年	◎			◎		
	英語学理論演習B 1	1			2～4年	◎			◎		
	英語学理論演習B 2	1			2～4年	◎			◎		
	英語圏文学演習B 1	1			2～4年	◎				◎	
	英語圏文学演習B 2	1			2～4年	◎				◎	
	英語圏文学演習C 1	1			2～4年	○				◎	
	英語圏文学演習C 2	1			2～4年	○				◎	
	英米文化研究A 1	1			2～4年	○			○	○	
	英米文化研究A 2	1			2～4年	○			○	○	
	英米文化研究B 1	1			2～4年	○			○	○	
	英米文化研究B 2	1			2～4年	○			○	○	
	英語圏広域文化研究 1	1			2～4年	○			○	○	
	英語圏広域文化研究 2	1			2～4年	○			○	○	
	英米文化動態論 1	1			2～4年	○			○	○	
	英米文化動態論 2	1			2～4年	○			○	○	
	英米文化基礎論 1	1			2～4年	○			○	○	
	英米文化基礎論 2	1			2～4年	○			○	○	
	英米言語文化演習 1	1			2～4年	◎			○		
	英米言語文化演習 2	1			2～4年	◎			○		
	ドイツ語学演習A 2	1		6	2～4年		○		◎		
	ドイツ語学演習B 2	1			2～4年		○		◎		
ドイツ語学演習C 2	1			2～4年		○		◎			
ドイツ文学演習A 2	1			2～4年		○			◎		
ドイツ文学演習B 2	1			2～4年		○			◎		

欧米言語文化学プログラム

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考
			必修	選択必修	
プログラム指定の専門科目 発展演習	ドイツ文学演習C 2	1			2～4年
	ドイツ文学演習D 2	1			2～4年
	フランス文学分析演習B 1	1			2～4年
	フランス文学分析演習B 2	1			2～4年
	フランス文学演習B 1	1			2～4年
	フランス文学演習B 2	1			2～4年
	日本近代文学演習B 1	1			2～4年
	日本近代文学演習B 2	1			2～4年
	日本近代文学演習C 1	1			2～4年
	日本近代文学演習C 2	1			2～4年
	日本現代文学演習B 1	1			2～4年
	日本現代文学演習B 2	1			2～4年
	日本現代文学演習C 1	1			2～4年
	日本現代文学演習C 2	1			2～4年
	中国文学演習A 1	1			2～4年
	中国文学演習A 2	1			2～4年
	中国文学演習B 1	1			2～4年
	中国文学演習B 2	1			2～4年
	中国文学テーマ別演習A	1			2～4年
	中国文学テーマ別演習B	1			2～4年
プログラム指定の専門科目 小計			36		
選択科目 ※ 2			18		
合計			88		

履修モデル

英語学 英米文学	ドイツ言語 文化学	フランス言語 文化学	対照 言語学	比較文学	
				A 群	B 群
	○			◎	
	○			◎	
		◎		◎	
		◎		◎	
		○		◎	
		○		◎	
					○
					○
					○
					○
					○
					○
					○
					○
					○
					○
					○
					○
					○
					○
					○

- 履修モデルについて
 ●：必修科目
 ◎：履修を強く推奨する科目
 ○：履修を推奨する科目

英米・ドイツ・フランス文学間の比較文学履修モデルでは、発展講義を除き、同履修モデルの A 群において強く履修を推奨されている科目(◎)を 30 単位以上修得すること。

英米・ドイツ・フランス文学と日本・中国文学間のプログラム横断型比較文学履修モデルでは、同履修モデルの A 群において強く履修を推奨されている科目(◎)を 18 単位以上、B 群において履修を推奨されている科目(○)を 12 単位以上(そのうち演習科目を 4 単位以上)修得すること。

- ※ 1 学域 GS 科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS 科目発展系科目群」の科目(GS 科目の発展系として位置づけられる科目を言う。)を履修することができる。
 なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4 月初めに公示する。
- ※ 2 選択科目には、以下の単位が含まれる。
 ①学域 GS 科目のうち、8 単位を超えて修得した単位
 ②学域 GS 言語科目のうち、2 単位を超えて修得した単位(上限 2 単位)
 ③人文学基盤科目のうち、14 単位を超えて修得した単位
 ④選択したプログラムの授業科目のうち、卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
 ⑤人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
 ⑥他学域・他学類の授業科目で修得した単位(上限 24 単位)

言語科学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	履修モデル		
			必修	選択必修		言語学	言語認知科学	
	学域GS科目 ※1	-	8		学類共通参照	●	●	
	学域GS言語科目	-	2			●	●	
	人文学基盤科目	-	14			●	●	
	卒論関係	-	10			●	●	
プログラム指定の専門科目	基礎講義	言語学概論A	1	1	12	2～4年	●	●
		言語学概論B	1	1		2～4年	●	●
		言語学概論C	1	1		2～4年	●	●
		言語学概論D	1	1		2～4年	●	●
		音声学1	1	1		2～4年	●	●
		音声学2	1	1		2～4年	●	●
		音声学3	1	1		2～4年	●	●
		音声学4	1	1		2～4年	●	●
		言語と認知A1	1			2～4年	○	◎
		言語と認知A2	1			2～4年	○	◎
		日本語学概説1	1			2～4年	○	
		日本語学概説2	1			2～4年	○	
		中国語学概説A1	1			2～4年		
		中国語学概説A2	1			2～4年		
		中国語学概説B1	1			2～4年		
		中国語学概説B2	1			2～4年		
		英語学概説A1	1			2～4年	○	
		英語学概説A2	1			2～4年	○	
		英語学概説B1	1			2～4年	○	
		英語学概説B2	1			2～4年	○	
		英語学総論1	1			2～4年		
		英語学総論2	1			2～4年		
		英文法講義A1	1			2～4年		
		英文法講義A2	1			2～4年		
		英文法講義B1	1			2～4年		
		英文法講義B2	1			2～4年		
		ドイツ語学概説A1	1			2～4年		
		ドイツ語学概説A2	1			2～4年		
		ドイツ語学概説B1	1			2～4年		
		ドイツ語学概説B2	1			2～4年		
		ドイツ語学講義A1	1			2～4年		
		ドイツ語学講義B1	1			2～4年		
		ドイツ語学講義C1	1			2～4年		
		フランス語学概説A1	1			2～4年		
		フランス語学概説A2	1			2～4年		
		フランス語学概説B1	1			2～4年		
フランス語学概説B2	1		2～4年					
心理学概論A	1		2～4年		○			
心理学概論B	1		2～4年		○			
心理学統計法1A	1		2～4年		○			
心理学統計法1B	1		2～4年		○			
心理学統計法2A	1		2～4年		○			
心理学統計法2B	1		2～4年		○			
発展講義	歴史言語学1	1		2～4年	○	○		
	歴史言語学2	1		2～4年	○	○		
	社会言語学1	1		2～4年	○	○		
	社会言語学2	1		2～4年	○	○		
	言語と認知B1	1		3～4年	○	◎		
	言語と認知B2	1		3～4年	○	◎		

言語科学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	履修モデル	
			必修	選択必修		言語学	言語認知科学
発展講義	日本語の歴史 1	1		6	2～4年		
	日本語の歴史 2	1			2～4年		
	日本語学講義 2	1			2～4年		
	中国語学研究 1	1			2～4年		
	中国語学研究 2	1			2～4年		
	英語学講義A 1	1			2～4年		
	英語学講義A 2	1			2～4年		
	英語学講義B 1	1			2～4年		
	英語学講義B 2	1			2～4年		
	ドイツ語学講義A 2	1			2～4年		
	ドイツ語学講義B 2	1			2～4年		
	ドイツ語学講義C 2	1			2～4年		
	神経・生理心理学A	1			2～4年		○
神経・生理心理学B	1		2～4年		○		
プログラム指定の専門科目 基礎演習・実習	言語学基礎演習A 1	1		8	2～4年	○	○
	言語学基礎演習A 2	1			2～4年	○	○
	言語学基礎演習B 1	1			2～4年	○	○
	言語学基礎演習B 2	1			2～4年	○	○
	言語学基礎演習C 1	1			2～4年	○	○
	言語学基礎演習C 2	1			2～4年	○	○
	フィールド言語学 1	1	1		3～4年	●	●
	フィールド言語学 2	1	1		3～4年	●	●
	日本語学演習A 1	1			2～4年		
	日本語学演習A 2	1			2～4年		
	日本語学演習B 1	1			2～4年		
	日本語学演習B 2	1			2～4年		
	英文法研究A 1	1			2～4年		
	英文法研究A 2	1			2～4年		
	英文法研究B 1	1			2～4年		
	英文法研究B 2	1			2～4年		
	英語学理論研究 1	1			2～4年		
	英語学理論研究 2	1			2～4年		
	英語認知論A 1	1			2～4年		
	英語認知論A 2	1			2～4年		
	英語認知論B 1	1			2～4年		
	英語認知論B 2	1			2～4年		
	英語学基礎演習 1	1			2～4年		
	英語学基礎演習 2	1			2～4年		
	ドイツ語学演習A 1	1			2～4年		
	ドイツ語学演習B 1	1			2～4年		
ドイツ語学演習C 1	1		2～4年				
心理学実験 1 A	1		2～4年		○		
心理学実験 1 B	1		2～4年		○		
発展演習・実習	個別言語演習A 1	1			2～4年	◎	○
	個別言語演習A 2	1			2～4年	◎	○
	個別言語演習A 3	1			2～4年	◎	○
	個別言語演習A 4	1			2～4年	◎	○
	個別言語演習B 1	1			2～4年	◎	○
	個別言語演習B 2	1			2～4年	◎	○
	個別言語演習B 3	1			2～4年	◎	○
	個別言語演習B 4	1			2～4年	◎	○
	個別言語演習C 1	1			2～4年	◎	○
	個別言語演習C 2	1			2～4年	◎	○
	個別言語演習C 3	1			2～4年	◎	○
	個別言語演習C 4	1			2～4年	◎	○

言語科学プログラム

履修モデル

	授業科目名	単位数	卒業に必要な単位数		備考	履修モデル	
			必修	選択必修		言語学	言語認知科学
プログラム指定の専門科目 発展演習・実習	言語学発展演習A 1	1		10	2～4年	○	○
	言語学発展演習A 2	1			2～4年	○	○
	言語学発展演習B 1	1			2～4年	○	○
	言語学発展演習B 2	1			2～4年	○	○
	言語学発展演習C 1	1			2～4年	○	○
	言語学発展演習C 2	1			2～4年	○	○
	言語学実習A 1	1	1		3～4年	●	●
	言語学実習A 2	1	1		3～4年	●	●
	言語学実習B 1	1	1		2～4年	●	●
	言語学実習B 2	1	1		2～4年	●	●
	日本語学演習C 1	1			2～4年		
	日本語学演習C 2	1			2～4年		
	中国語学演習A 1	1			2～4年		
	中国語学演習A 2	1			2～4年		
	中国語学テーマ別演習A	1			2～4年		
	中国語学テーマ別演習B	1			2～4年		
	英語学理論演習A 1	1			2～4年		
	英語学理論演習A 2	1			2～4年		
	英語学理論演習B 1	1			2～4年		
	英語学理論演習B 2	1			2～4年		
	ドイツ語学演習A 2	1			2～4年		
	ドイツ語学演習B 2	1			2～4年		
	ドイツ語学演習C 2	1			2～4年		
プログラム指定の専門科目 小計			36				
選択科目 ※ 2			18				
合計			88				

履修モデルについて

- ：必修科目
- ◎：履修を強く推奨する科目
- ：履修を推奨する科目

※ 1 学域 GS 科目として、本学域が提供する科目に加えて、国際基幹教育院が提供する「GS 科目発展系科目群」の科目（GS 科目の発展系として位置づけられる科目を言う。）を履修することができる。
 なお、当該科目群の提供科目については別に定めるものとし、4 月初めに公示する。

※ 2 選択科目には、以下の単位が含まれる。

- ①学域 GS 科目のうち、8 単位を超えて修得した単位
- ②学域 GS 言語科目のうち、2 単位を超えて修得した単位（上限 2 単位）
- ③人文学基盤科目のうち、14 単位を超えて修得した単位
- ④選択したプログラムの授業科目のうち、卒業に必要な単位数を超えて修得した単位
- ⑤人文学類の他のプログラムの授業科目で修得した単位
- ⑥他学域・他学類の授業科目で修得した単位（上限 24 単位）